

帰敬式

浄土真宗のみ教えをよりどころとして生きていくことを、阿彌陀如来さまや親鸞聖人に誓う大切な儀式が「帰敬式(おかみそり)」です。受式すると、ご門主様から「法名」をいただきます。法名は、「釋」の後に経文などから選ばれた漢字2文字が続きます。「釋(釈)」の字は、お釈迦さまの弟子であることを意味します。法名をいただくことは、門徒としての自覚をもって生きる証です。浄土真宗の門徒として、大遠忌法要を機縁にぜひ帰敬式を受式し、心新たにお念仏をよろこぶ生活を送りましょう。

とき

1月9日(月)～16日(月)

【1回目】 晨朝(6時)に引き続き

※但し、1月16日の晨朝後はありません。

【2回目】

1月9日 12時30分～

1月10日～15日 日中法要(10時)に引き続き

(11時頃予定) ※午後はありません。

1月16日 13時30分～

ところ

阿彌陀堂

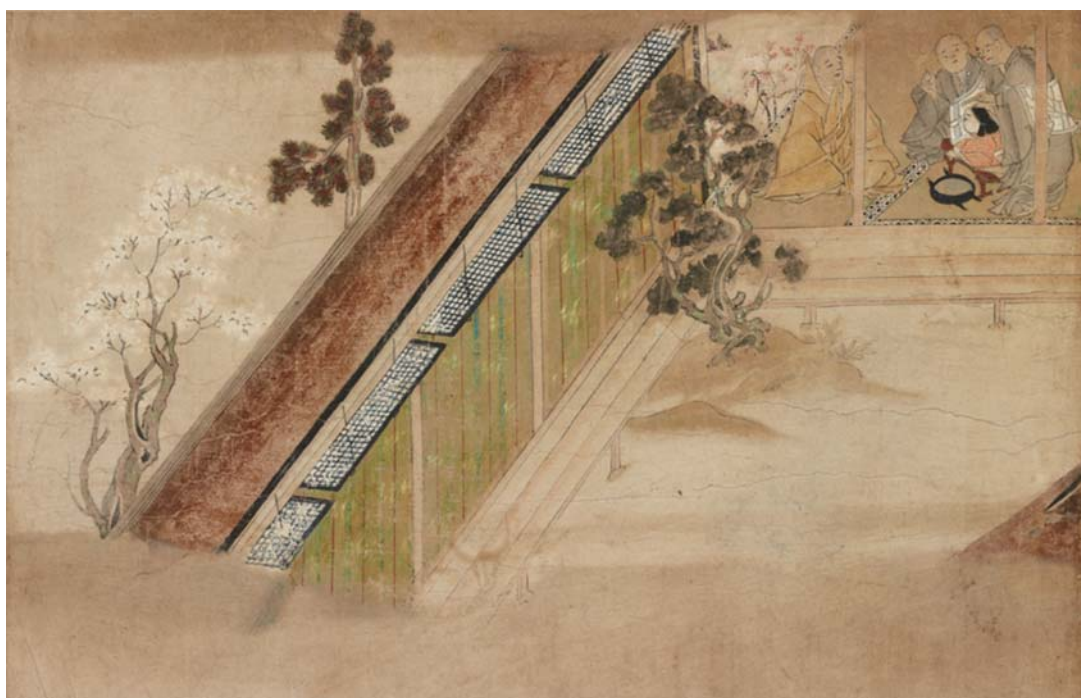
申し込み

龍虎殿(一般参拝部)

※晨朝・日中法要の時間までに受付をお済ませください。

冥加金

成人1万円・未成年5千円



▲ 親鸞聖人のお得度 (『善信聖人親鸞伝絵』より)